

2023年10月

茨城学習センターだより 第83号

# ふむふむ

発行 放送大学茨城学習センター

〒310-0056 茨城県水戸市文京2-1-1 (茨城大学構内)  
TEL: 029-228-0683 FAX: 029-228-0685

## もくじ

巻頭言	1
学位記授与式	2
卒業生からのメッセージ	3
学習奨励賞・茨城学友同窓会	4
入学者の集い	6
教員・学生講演会	7
面接授業開講科目・ライブラリー講演会	8
事務室からのお知らせ	10～11
スケジュール	12

## 「こうなればいいな」から始まる通信の研究

茨城学習センター客員教授  
茨城大学 副学長  
茨城大学 理工学研究科教授

羽瀧 裕真



面接授業の題目は『情報と通信ネットワークの神髄』です。ゼミのテーマは「情報通信・ネットワークの基本を知ろう」であり、Pythonによるプログラム作成を中心に進めています。通信ネットワークは電気・ガス・水道と同様にインフラの1つになっています。この情報通信を基盤として、アンビエント社会、ユビキタス社会、データ駆動型社会、Society5.0への変革が期待されています。面接授業やゼミでは、これらのキーとなる「デジタル」と進化を続ける通信の理解を深めていきます。

研究分野は情報通信です。その1つである「光ワイヤレス通信」の研究を少しだけお話しします。照明機器や信号機がLEDにどんどん換わっています。そのLEDは点滅(人間の眼では点灯しているようにしか見えません)しており、その点滅を1と0に対応させればデータ伝送(照明光通信と言います)できるのではないかと考えられます。照明機器は電源線に繋がっていますので、電源線通信を用いればネットワーク化ができるようになります。通信エリアは照明が点灯している場所なので、どこで利用できるかも一目瞭然です。可視光通信は電波と違って電波法(電波は3THz以下の信号)に制約されないため、電波が利用できない場所でも活用できるのです。ただ、照明機能を維持しながら通信機能の実現、電源線通信との融合、人の移動に伴う照明機器の切り替えなど問題は山積です。また、可視光は海中での減衰率が電波よりも小さいため、可視光による海中通信の研究も始めています。可視光による海中通信では、通信機能の実現だけでなく、光のあたらない深海生物への影響も考え、状況にあわせる通信形態の検討が必要になります。

通信では、皆さんが使っているスマホやインターネットの研究ばかりでなく、今まで考えてもいなかった研究もあり、奥が深いのです。また、通信研究は工学なので、「こうなればいいな」「社会への貢献」が素になっているのです。



# ご卒業おめでとうございます

10月1日(日)午前11時より、2023年度第1学期卒業生に対する「学位記授与式」が、茨城学習センターにおいて挙行されました。学位記授与、小野寺淳所長の式辞、井上栄一客員教授、飯島孝夫同窓会副会長の祝辞に続き、学位記授与者代表の沖 翔太様から謝辞が述べられ、29名の学部生が卒業となりました。

皆様のごこれまでのご努力に敬意を表し、心からお慶び申し上げます。皆様のますますのご発展とご活躍をお祈りいたします。



## 2023年度第1学期卒業生

生活と福祉コース	7名	心理と教育コース	9名	社会と産業コース	1名	
人間と文化コース	8名	情報コース	3名	自然と環境コース	1名	
					合計	29名

## 謝 辞



卒業生代表

**沖 翔太**

(心理と教育コース卒業)

本日は私たち卒業生のために学位記授与式を開催していただき誠にありがとうございます。

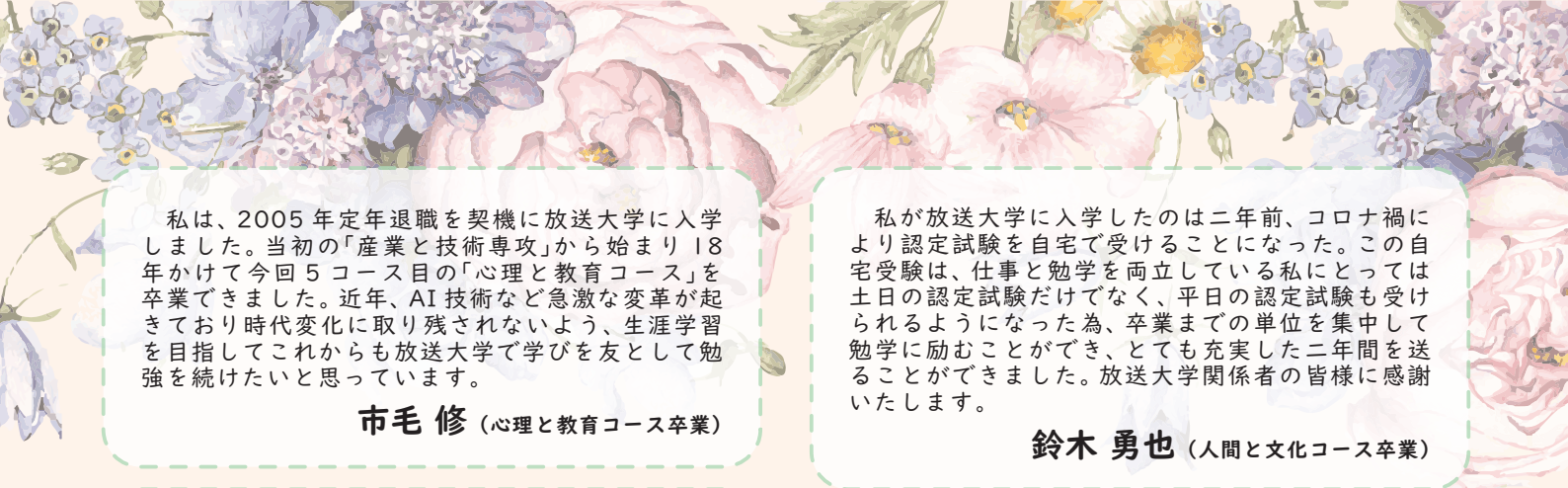
私が放送大学に入学したのは、自身のキャリアアップのためでした。高校卒業してすぐに働き始めた私にとって、大学卒業というのは目標の一つでした。働きながら勉強するということが最初はやりきれぬか不安でした。しかし、分かりやすい教材やオンライン授業を自分のペースで進めることができ、何より授業が興味深く面白かったためすぐに不安はなくなりました。放送大学では、好きな科目だけでなく、少し難しくても自分に必要な科目を選択して学習するといった主体的に学習をする力をつけることができました。

また、働きながら学習するということが、職場の理解や家族、友人のサポートも非常にありがたく、学び続けるモチベーションの維持にもつながりました。

卒業は一つの区切りとなりますが、これはゴールではなく新たなスタートとしてこれからも主体的に学ぶ姿勢を忘れずに学び続けたいと思います。

最後になりましたが、いつもご指導、ご支援くださった先生方、職員の皆様、支えてくれた家族や友人、職場の同僚に改めて深く感謝いたします。

放送大学の今後益々の発展と、皆様のご今後一層のご多幸をお祈りして卒業生代表挨拶とさせていただきます。



私は、2005年定年退職を契機に放送大学に入学しました。当初の「産業と技術専攻」から始まり18年かけて今回5コース目の「心理と教育コース」を卒業できました。近年、AI技術など急激な変革が起きており時代変化に取り残されないよう、生涯学習を目指してこれからも放送大学で学びを友として勉強を続けたいと思っています。

**市毛 修** (心理と教育コース卒業)

私は以前から日本近代史に興味を持ち、歴史を多く学べる「人間と文化コース」に入学しました。当時は県外の実家から茨城学習センターに通いました。4年間の学びを通し、お互い支え合った親友たちとの絆はより一層深まったと実感しています。おかげさまで、放送大学を卒業できましたこと、多くの方々に感謝申し上げます。

**大平 真由** (人間と文化コース卒業)

半年に一度の単位修得試験に挑戦する緊張感を味わいながらの生活に、やりがいを感じながら学習を進めてまいりました。認定心理士の資格もとることができ、12年かかりましたが今回卒業することになりました。たくさんの先生方の授業ありがとうございました。

**奥山 諭** (心理と教育コース卒業)

卒業に当たり放送大学で学ぶことは、私のそのときどきの学ぶことへの心理的な変化は、私の住んでいる笠間市の愛宕山から難台山を尾根伝い歩く時の様に登り下りの連続の変化がありました。そんな中で茨城学習センターのゴルフサークルに2018年10月1日に入会させて頂いたことは、その時までになかった前向きな自分になったと思います。ゴルフサークルの皆様の学習に対する考え方を幾度となく拝聴させて頂く内に、一步一步ですが前向きに取り組むができたと思っています。学ぶ皆様へ 茨城学習センターゴルフサークルで会いましょう。

**興野 五男** (生活と福祉コース卒業)

2019年4月に入学し、「4年で卒業」を目標に勉学に励んだ長いようで短い学生生活でした。コロナ禍でも上質な授業を受けることができたのは間違いなく放送大学のおかげです。ここで得た知識を活かし、多くの人々の手助けになれるよう、これからも尽力して参ります。

**齋藤 ひかり** (心理と教育コース卒業)

三度目の卒業を迎えました。最初の卒業には5年半かかりました。単位認定試験に緊張感の中臨んだこと、時間調整に苦慮したことを思い出します。現在のWeb試験は、アクセスすることもなく、家に居て受験できる便利さは代えられません。四度目の卒業を目指しています。

**鈴木 正一** (生活と福祉コース卒業)

私が放送大学に入学したのは二年前、コロナ禍により認定試験を自宅で受けることになった。この自宅受験は、仕事と勉学を両立している私にとっては土日の認定試験だけでなく、平日の認定試験も受けられるようになった為、卒業までの単位を集中して勉学に励むことができ、とても充実した二年間を送ることができました。放送大学関係者の皆様に感謝いたします。

**鈴木 勇也** (人間と文化コース卒業)

“学は孤ならず、必ず学友あり” 馴染のなかった「情報コース」を何とか卒業できました。これは茨城学習センターのゼミ・サークルを通じて得られた学友からの的確な助言、知的刺激等による面が大きかったと感じています。再入学し勉学を続けます。

**竹内 孝** (情報コース卒業)

学生時代と違って楽しみながら取り組んでまいりました。特に数学や物理のオンライン授業は一言も聞き漏らさないよう集中して受講し、理解が深まりました。又、統計も面白く、世間の統計の数値を理解するのに役立っています。教室での認定試験は独特な雰囲気があって思い出深いです。有難うございました。

**蛭田 博** (自然と環境コース卒業)

約30年前の大学生活は、代返が可能かなどの情報集めに全力を注ぎ、勉強は期末試験の直前のみだった。当時にはなかったインターネット環境での受講や試験は、学習環境の進歩を強く感じた。卒業をむかえ、科目選びや試験勉強などの学習姿勢を振り返ってみると・・・生涯学習が重要だと痛感した。

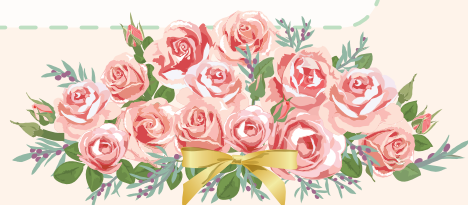
**宮下 俊靖** (心理と教育コース卒業)

人生100年時代。遅すぎる学びはないと信じて入学した放送大学。やれば結果に繋がる喜び、意欲を持つゼミの仲間との出会い。様々な刺激を受け、日々の生活が張りのあるものになりました。人生を豊かにし、視野、楽しみの幅を広げてくれる生涯学習をこれからも続けていきます。学生生活を支えてくださったすべての方に感謝申し上げます。

**渡邊 順子** (人間と文化コース卒業)

「生活と福祉」同僚が放送大学で資格をとったとの話を聞き自分も仕事の学び直しをしたいと入学しました。心理、社会学、情報と学ばせていただき、とても勉強になっています。面接授業でも他県にまで行き楽しく学ばせてもらっています。自分が知らない事が分かるということはとても嬉しいことです。お世話になった講師の先生方やスタッフの皆様、何歳になっても学び続ける皆様に感謝致します。

**渡辺 ひとみ** (情報コース卒業)



# 学習奨励賞表彰

10月1日(日)午前、茨城学習センターにて学習奨励賞の表彰式が行われました。

表彰は、学部または大学院の3コース(プログラム)以上を卒業・修了された方を対象に、卒業・修了されたコース・プログラム数に応じて、茨城の山々の標高にちなみ、『八溝賞』『筑波賞』『神峰賞』の愛称名を付しています。

「学びの旅」という知識の果てしない海を探求する高い志と絶えまぬ努力に敬意を示し、これからもますますご活躍されることを祈念いたします。

※八溝賞：(卒業または修了回数)が5回以上、  
筑波賞：4回、神峰賞：3回

八溝賞

山下 功

八溝賞の報に、一声はやっと獲得したと思った。単位の取り間違いから、予定より1年遅れた。ところで、放送大学との関わりは定年後の過ごし方の悩みからで、設計屋で日々物作りにたずさわり、思考が現象(例えば不具合等)と理論に乖離があるなど思いが有り、理系の基礎から学びなおそうと放送大学を選び、数学を主に学部・大学院を卒業・修了し、院修了時、指導教授に名誉学生になるのは文化系コースがネックになるよと言われ、このネックに嵌まり今回遅れた。最後の「人間と文化コース」は頑張りたいと思う。

— 八 溝 賞 —  
市 太 北 斎 佐 田 山  
毛 田 崎 藤 藤 代 下  
修 一 義 一 寿 晃 一 寛 功

筑波賞

金田 一志

2009年の第2学期に、工作上必要な資格を得るため、科目履修生として入学したのが始まりでした。当初、卒業することなどは考えておりませんでした。魅力的な講座が数多く、自分のペースで無理なく学べることに惹かれ、学籍を切らせてしまうのがもったいなく思えたからです。好奇心の赴くままに少しずつ履修を続け、やがては全科履修生となり、気付いてみればこの度4コース目を卒業することとなりました。現在、社会と産業コースに再入学しており、法学系や社会学系の科目から興味のもてるものを選択して履修しています。これからもマイペースで無理なく学んでいきたいと思っています。

— 筑 波 賞 —

飯 金 清 住 山 吉 渡  
田 田 水 谷 村 澤 辺  
智 一 堅 光 久 秋 ひと  
子 志 一 男 男 男 み

筑波賞

清水 堅一

放送大学で学んでみよう意識したのは、定年に近づいた60歳頃である、仕事をしながら学ぶことが出来ることもあり放送大学入学を決めた。2008年、大学の環境に対応可能かを確認したい気持ちもあり、選科履修生からスタート、慣れてきたところで全科履修生として学ぶことにした。初めの全科履修コース卒業後、茨城大学の修士課程を受験し、2年間放送大学を離れた。2017年、放送大学に復帰、全科履修3コースを終えた。現在は5番目のコース(生活と福祉)で学んでいる。今考えると、放送大学、茨城学習センターの学習環境も年々変化しており、ほとんどの授業が自宅で行えることになった。このような状況下でも大学本部、学習センターが学生のために学ぶ環境を整えてくださっていることに心から感謝申し上げたいと思います。

筑波賞

住谷 光男

放送大学へは、2013年4月に入学しました。1年前の春に定年退職して、週3.5日の再任用として勤務するようになり、それまでの職場中心の生活から余裕ができ、歴史関係科目を学びたいと思ったからです。当初は卒業のことは全く考えてなく、日本古代中世史、朝鮮史、中国史など興味のある科目を気ままに履修したいと思い選科履修生として入学しました。ただ、選科履修生は1年ごとに入学手続きをしなければならないので、次年春からは全科履修生(3年次編入)として人間と文化コースに入学しました。2017年9月に人間と文化コースを卒業し、10月から社会と産業コースに継続入学しました。放送大学には豊富な科目が開講していますので、単に好きな・興味のある科目以外の法律・経済・心理学・教育・福祉等の新たな分野に興味をわいてくるとともに、違う分野にも挑戦してみようと思いが出てきます。

筑波賞

### 山村 久男

この度、学習奨励賞(筑波賞)を頂きありがとうございます。放送大学の案内は、市役所などに置いてあり、以前より興味がありました。入学したのは2011年第2学期です。その年は東日本大震災で県内は被害が多数あり、国や市役所等からの委託により、被害調査等に参加していました。しかし、生涯学習、健康寿命等に役立つと思い以前から気になっていた放送大学の入学を決めました。2017年3月の卒業式(NHKホール)に参加した時、90歳程の方が名誉学生の称号を受けられました事に刺激を受け、生涯学習の友として、先輩に負けずに4コースを修了しました。現在「人間と文化コース」を学んでいます。放送授業のインターネット配信を利用して、好きな時間に学んでいます。記憶力が衰えるなか、好きな科目を何回も視聴し、新しい楽しみ、新しい発見があります。これからも学習センターの諸先生、職員の皆様方にご指導をお願い致します。

筑波賞

### 吉澤 秋男

入学は在職中の2015年で「学ぶことは頭の健康作り」と当時は明確な目的は無かった。最初の情報コースを学ぶ内に孫の教育に焦点を絞るようになり、福祉・教育コースの教育法が大いに役立った。放送大学は放送による学習のため、常に自分を奮い立たせ自身との闘いである。当初の「決して単位を落とさない」守りから「教科の内容を身に付けよう」と攻めに転じ、テキストを最低5回は読み直し、重要なことはノートに纏めた。そういう中で英会話(白石教授)ゼミ仲間との存在は同じ学ぶ戦士として悩み・趣味・生活等を互いに話すことで、元気をもらっている。私のモットーは「日々前進すること」だ。学び・趣味を極めることで新たな自分を見出すことが生きるモチベーション向上に繋がっている。



## — 神 峰 賞 —

鈴木 正一  
竹内 孝  
山口 一雄  
矢野 正義  
吉田 聡介

# 茨城学友同窓会

この度2022(令和4)年度をもちまして退任させて頂きました。顧みれば6期12年にわたり務めさせて頂き、この間各方面より多大なご支援・ご協力を頂きました。ありがとうございました。

また、茨城学習センター殿には、5代の所長先生、3代の事務長様をはじめ客員教授の先生方、事務室スタッフの皆様に一貫してご指導、ご支援を賜りましたことに心より感謝申し上げます。厚くお礼申し上げます。

今や全学習センターごとにそれぞれ同窓会が結成され、活動を展開していますが、卒業後に別のコースに再入学する、すなわち卒業生でありながら現役学生でもあるという方が少なからずおられます。このような会員の存在する同窓会は如何にあるべきか、このことを考え続け、その答えの一つが大学(センター)、学生とサークル、同窓会が三位一体的にまとまり諸行事などの実施をすることでありました。オープンキャンパス・学園祭、論文発表会、講演会、茨城SCフォーラムの刊行、研修旅行など行事の多くに共催または企画・実施に深く関わらせて頂いております。我々の伝統になっていると感じます。

茨城学習センターに集う関係者が一体的に纏まることにより、学生の皆様の学業の成就、茨城学習センター・放送大学の発展に繋がると考えております。

永遠のご発展をお祈りしております。

## 会長退任のご挨拶

矢野 正義



## 会長新任のご挨拶

立原 やい子



茨城学習センターで学ぶ皆様、4月に茨城学友同窓会会長を引き継ぎました、立原やい子と申します。私は2000年入学、現在も選科履修生で学んでおります。会長として学友同窓会活動を開始して約5か月、オロオロの連続ですが前会長の矢野さんに助けられ、学習センターの皆様のご指導を受けながら、次々来る行事準備等の活動を進めております。学友同窓会は、私がこれまでの学校生活で経験してきた同窓会と違って、年間を通して活動する活発な同窓会です。久しぶりに集まって旧交を温める、所謂同窓会ではないのです。当学友同窓会は名前の通り、学生のうちから入会でき、多くの行事は学習センターとの共催で、ご指導、ご協力を得ながら、役員・学生三位一体となり、進めております。

放送大学は、通信制ゆえに自由に学習時間を作れますが、一方で自分を律しないとそれがデメリットになります。会長の役割も同様で、私が適時適切に発信しないと活動が停滞しますので、心して臨んでいます。(矢野さんからの助言です)

今後は、先輩方の論文発表会が控えています。皆様ぜひご参加下さい。

# ご入学おめでとうございます

10月1日(日)午後、茨城学習センターにて「入学者の集い」が執り行われました。小野寺淳所長の式辞に続き水口進客員教授、立原やい子学友同窓会会長の来賓祝辞、高橋洋子様より新入生代表挨拶がありました。



学部	大学院
全科履修生 50名	修士選科生 7名
選科履修生 68名	修士科目生 8名
科目履修生 131名	
合計 249名	合計 15名



学友同窓会による「祝賀茶話会」は4年ぶりの開催となり、各サークルの紹介や入学者の自己紹介等大変和やかな雰囲気のもと行われ、放送大学生として新たなスタートが始まりました。

## 新入生代表挨拶



全科履修生(自然と環境コース)

高橋 洋子

本日は、私たちのために「入学者の集い」を開催していただき、誠にありがとうございます。

私自身のことになりますが、数年前に大病を経験したことをきっかけに、これまでの人生やこれからの生き方を考える中で、これから先、自分が本当にやりたかったことをやり、悔いのない人生にしたいと、強く思うようになりました。

私は、かつて大学生だった時は、学びたいことがあり文系を選びましたが、同時に生物学や物理学、数学などの自然科学にも興味がありました。しかし、その後就職して、自然科学を学びたい気持ちは心の中にしまい、今日に至りました。

放送大学では、自然と環境コースで4年間じっくり学び、学んだことを次のステップへつなげていければと考えています。

仕事との両立は大変かもしれませんが、忙しくても、楽しんで学ぶくらいの気持ちの余裕を持ちたいと思います。

本日入学する私たちは、入学の目的も、年齢も職業も様々ですが、学びたいという意志を持っていることは、皆共通しています。

いくつになっても、このように学べる環境を与えていただきましたことに感謝いたします。

先生方や職員の皆様には、これから色々とお世話になりますので、ご指導の程よろしくようお願い申し上げます。入学生代表挨拶とさせていただきます。

# 第12回教員・学生講演会報告

9月2日(土)、茨城県立図書館の視聴覚ホールにおいて、茨城学習センターの教員と学生による「第12回教員・学生講演会」が開催されました。この講演会は、学生が培った知的蓄積を地域社会に向けて発信する場として2010年から始まりました。本講演は今年で12回目を迎えることとなり、多様なトピックに焦点を当てた講演が行われました。

## 講演題目

### 「サバイバーズ・ギルドについての一研究

～交通事故生存者の苦悩から～

教養学部(心理と教育コース)卒業生 梁田 知代子さん



「命と心の傷」がテーマの長論文ですので、短時間で発表するにはどこから何をお話したら皆様に間違いなく伝わるのか、とても不安で悩みました。しかし、会場の皆様には温かいお気持ちで最後まで集中してご清聴いただき感謝の気持ちでいっぱいです。研究中は孤独なものでしたが、この日は「時間と研究を皆様と共有できた」ようでとても嬉しかったです。歴史ある大舞台で大変貴重な経験をさせていただきました。誠にありがとうございました。

## 講演題目

### 「インド・ヨーロッパ語族の原郷探し」

教養学部(情報コース)在学 田辺 裕美さん

私の今回の発表テーマ(言語学)について言えば、できるだけ多くの言語に当たってその概要を把握する(但し会話力までは求めない)必要があるので、放送大学ではフランス語、スペイン語等の現代語に限らず、面接授業を採ればラテン語、古代ギリシャ語やサンスクリット語等の古典語まで勉強する機会もあり大変有難いです。ラテン語については放送授業が2019年度で終わってしまったのが残念ですけれど。今回の発表で古代人骨のゲノム分析したHaak等の研究を紹介しましたが、それまで学会を二分していたテーマを1編で静まらせてしまう、そんな痛恨の研究論文が書ければ研究者冥利に尽きます。



## 講演題目

### 「ライデン大学図書館シーボルトコレクションの紹介」

茨城学習センター所長 小野寺 淳先生



シーボルトが日本で収集したコレクションの多くは、現在オランダ王国ライデン市にあるライデン大学図書館、ライデン国立民族学博物館、シーボルトハウスに保存されています。シーボルトコレクションのうち、シーボルトが第一次来日時に日本から持ち帰った地図を研究するための資料収集の方法を紹介しました。

学生論集『茨城 SC フォーラム』は、学生の研究論文、調査報告、技術問題などの解説、先生方や学生の随筆などを掲載することにより、茨城学習センターにおける知的交流の場を提供することを目的として、毎年3月に発行しています。

「第12回教員・学生講演会」の内容も  
論文文化され掲載予定ですので、どうぞお楽しみに！



## 面接授業開講科目一覧



面接授業は、直接教員から講義や指導を受けられる重要な機会であり、他の学生との交流や啓発の場でもあります。一人では体験できない実習や実験等もあり、学友と学ぶ楽しさも実感できます。空席のある科目がありましたら、ぜひ追加登録して受講してみてください。

科目区分	科目コード	科目名	担当講師	開講日	追加登録申込締切日
【専門】 情報	2626209	情報と通信ネットワークの神髄	羽瀨 裕真 茨城大学 教授 (理工学研究科)	10月21日(土) 1～4時限 10月22日(日) 1～4時限	10月19日(木)
【専門】 生活と福祉	2626136	健康の社会学と現代社会	瀧澤 利行 茨城大学 教授 (教育学部)	10月21日(土) 1～4時限 10月28日(土) 1～4時限	10月19日(木)
【基盤】 外国語	2626098	フランス語入門	猪俣 紀子 茨城大学 准教授 (人文社会科学部)	10月21日(土) 1～4時限 10月28日(土) 1～4時限	10月19日(木)
【導入】 心理と教育	2626110	人間存在の本質と教育	生越 達 茨城大学 教授 (教育学研究科)	10月28日(土) 1～4時限 11月 4日(土) 1～4時限	10月21日(土)
【専門】 社会と産業	2626152	フランス山岳地の農業と経済	伊丹 一浩 茨城大学 教授 (農学部)	11月 4日(土) 1～4時限 11月11日(土) 1～4時限	10月28日(土)
【専門】 人間と文化	2626179	江戸時代の三大改革と茨城	小野寺 淳 放送大学 特任教授	11月 5日(日) 1～4時限 11月12日(日) 1～4時限	10月28日(土)
【専門】 心理と教育	2624737	心理検査法基礎実習	水口 進 放送大学 客員教授	11月 5日(日) 1～4時限 11月12日(日) 1～4時限	10月28日(土)
【導入】 人間と文化	2626128	日中比較妖怪学入門	増子 和男 茨城大学 名誉教授	11月11日(日) 1～4時限 11月18日(日) 1～4時限	11月 4日(土)
【基盤】 外国語	2626101	英語リスニング・エクササイズ	小林 英美 茨城大学 教授 (教育学部)	11月18日(土) 1～4時限 11月19日(日) 1～4時限	11月11日(土)
【専門】 人間と文化	2626187	茨城の古墳時代	塩谷 修 元川村学園女子大学 教授	11月26日(日) 1～4時限 12月 3日(日) 1～4時限	11月19日(日)
【専門】 自然と環境	2626217	果樹の来歴と育種	井上 栄一 茨城大学 教授 (農学部)	12月 2日(土) 1～4時限 12月 3日(日) 1～4時限	11月24日(金)
【専門】 心理と教育	2624990	心理学実験 2	山田 一夫 筑波大学 教授 (人間学群)	12月 2日(土) 1～4時限 12月 3日(日) 1～4時限	11月24日(金)
【基盤】	2624516	新・初歩からのパソコン	松村 初 茨城大学 准教授 (教育学部)	12月 9日(土) 1～4時限 12月10日(日) 1～4時限	12月 2日(土)
【専門】 生活と福祉	2626144	ライフスタイルと持続可能性	木村 美智子 茨城大学 名誉教授	12月 9日(土) 1～4時限 12月16日(土) 1～4時限	12月 2日(土)
【専門】 社会と産業	2626160	アジアの産業発展と日本	長田 華子 茨城大学 准教授 (人文社会科学部)	12月10日(日) 1～4時限 12月17日(日) 1～4時限	12月 3日(日)
【専門】 心理と教育	2624710	心理学実験 3	三輪 壽二 茨城大学 教授 (教育学研究科)	12月16日(土) 1～4時限 12月17日(日) 1～4時限	12月 9日(土)
【専門】 自然と環境	2626225	実習で学ぶ宇宙・地球・環境	大森 聡一 放送大学 教授 (自然と環境コース)	12月23日(土) 1～4時限 12月24日(日) 1～4時限	12月16日(土)
【専門】 人間と文化	2626195	続・シルクロード史入門	澁谷 浩一 茨城大学 教授 (人文社会科学部)	12月23日(土) 1～4時限 12月24日(日) 1～4時限	12月16日(土)



# 面接授業の追加登録について

入学学期当初から面接授業の登録申請に間に合わなかった方、期間内に科目登録が間に合わなかった方も空席があれば面接授業の科目登録ができます。  
空席状況をチェックしていただき、窓口もしくは郵送にて追加登録申込締切日までに申請してください。

**空 席 発 表：10月14日(土) 12:00～**  
**追加登録受付開始日：10月19日(木) 10:00～**

- 窓口申請→面接授業追加登録申請書・学生証・授業料を持参してください。
- 郵送申請→面接授業追加登録申請書・学生証のコピー・授業料・返信用封筒(宛名明記、84円切手貼付)を同封のうえ、現金書留にてお送りください。

▶詳しくは茨城学習センターホームページをご覧ください。

 放送大学

# ライブラリー講演会

●場 所 / 茨城県立図書館 視聴覚ホール ●時 間 / 14:00～16:00

事前申込不要  
参加費不要

2023  
11/18(土)

## 「人生の不条理」と対話の哲学

放送大学茨城学習センター客員教授  
茨城大学名誉教授

渡邊 邦夫

「どんなにがんばっても人生は意味がなく、不条理だ」という主張が時々提出されます。自分は「意味のある人」ではなく、意味があっても死後やがて消えるといった考えがもとにあります。人間の価値を単純に比較する「考え」自体が間違っていると思われまます。本講演では「かけがえのなさをめぐる自分との対話」という角度からこの問題を考えます。

2023  
12/16(土)

## 知られざる女性たちの交流史

— 津田梅子とエレン・H・リチャーズ

法政大学人間環境学部教授

湯澤 規子

19世紀の日本とアメリカにおける女性の位置づけを振り返り、最初の扉を開いた女性2人の思想と実践を追いながら、その交流史についてお話しします。日本の女性教育の祖として知られる津田梅子は、若き日にアメリカでどのような経験をし、何を感じたのでしょうか。マサチューセッツ州ボストンの資料などにも触れながら、考えていきましょう。

2024  
2/17(土)

## 弘道館の教育と水戸藩の学問

茨城県水戸土木事務所借案園公園課  
(弘道館事務所) 主任研究員

小坪 のり子

9代藩主徳川斉昭の創設した水戸藩校弘道館は、儒学をはじめとする各種の学問や多くの流派の武芸を学べる施設を備えた、いわば総合大学的な学問所でした。本講演では、従来ほとんど顧みられなかった医学・天文学・蘭学・音楽といった分野の教育にも光をあて、その総合大学的な学問所としての機能を明らかにし、弘道館教育の全体像を再検討してみたいと思います。

2024  
3/16(土)

## 気候変動の最新動向と私たちの生活

茨城大学前学長

茨城大学地球・地域環境共創機構特命教授

三村 信男

気候変動問題はますます重大になっています。昨年は、世界各地で洪水や干ばつ、熱波などの被害が生まれました。それに対して、カーボンニュートラルや影響対策の動きが高まっていますが、エネルギーや食料供給の不安定が重なり心配な状況です。本講演では、今世界で何が起きているのか、それが私たちの生活とどのように繋がっているのかについて考えます。

※詳しくは、茨城学習センターのホームページまたはチラシをご覧ください。  
※新型コロナウイルス感染症の状況により、中止・変更となる場合があります。

# 事務室からのお知らせ



『学生生活の葉』には、放送大学で学ぶにあたっての方法、留意事項、諸手続きをはじめ、学習センターの利用方法や課外活動等についての詳細が記載されています。学生生活を送るうえで疑問点が生じた時には、随時ご参照ください。

## 学生証の交付について

『学生生活の葉』学 部 p.18 ~  
大学院 p.24 ~

学生証の交付は、茨城学習センターの**2階事務室窓口**で行っています。

- 10月に新規入学・再入学・継続入学された方  
→入学許可書をご持参ください
- 有効期限切れとなった学生証をお持ちの在学生の方  
→期限切れの学生証をご持参ください  
(有効期限は 全科履修生：2年間  
選科履修生：1年間  
科目履修生：半年間 です)



顔写真が未登録の場合は学生証を発行することができませんので、システム WAKABA の「学生カルテ」から写真を登録するか、「学生生活の葉」巻末の「写真票」(学部：様式 11、大学院：様式 10)を本部学生課出願登録係(修士全科生・博士全科生は本部教務課大学院研究指導係)まで提出してください。

**新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、できる限り「郵送」による交付をご利用ください。郵送による申請は、以下のものを同封して学習センターまで送付してください。**

- ①郵送による学生証交付願 ※茨城学習センター HP からダウンロードできます  
→<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/ibaraki>
- ②新入生：入学許可書または顔写真のある身分証明書の写し  
在学生：有効期限の切れた学生証または顔写真のある身分証明書の写し
- ③返信用封筒(宛名記名、434円分の切手貼付) ※簡易書留で返送します

## 証明書の発行について

『学生生活の葉』学 部 p.97 ~  
大学院 p.92 ~

『学生生活の葉』巻末にある「諸証明書交付願」(学部：様式9または10、大学院：様式8または9)に必要事項を記入し、**学習センター事務室窓口にて**、手数料(1通につき200円)を添えて申請してください。※「諸証明書交付願」は、システム WAKABA からダウンロードできます。

- 郵送による申請  
郵送での申請は、以下のものを同封して学習センターまで送付してください。
  - ①諸証明書交付願
  - ②手数料(1通につき200円) ※郵便局で必要な手数料分の「郵便定額小為替証書」を購入し同封または現金書留で現金を同封してご郵送ください。
  - ③返信用封筒(長形3号封筒 120mm×235mm に宛名明記、切手を貼付したもの)  
返信用切手(証明書1通の場合→84円、2通の場合→94円)

※証明書の種類によって、発行に時間が掛かるものがあります。発行日数を考慮し、余裕を持って申請してください。

※現在教員免許状を持っている方で、上位または他教科等の教員免許状を申請する場合は、『教員免許状申請用証明書』と記入されている「諸証明書交付願」(学部：様式10、大学院：様式9)で申請してください。「諸証明書交付願」の様式は2種類ありますので、間違いのないよう注意してください)

## 学割証の発行について

全科履修生及び修士全科生は、自宅から学習センターまたは大学本部に通学する場合や、面接授業を受講する場合等において、学生旅客運賃割引証(学割証等)の交付を受けることができます。学割証等発行願に必要な事項を記入し、学習センター事務室窓口にて申請してください。

※個人的な用務等の利用は認められませんのでご注意ください。

※教養学部卒業研究や大学院修士全科生が研究指導のため移動する場合等については、指導教員から指示(許可)があったことを示す書類が必要です。

## 通信指導の提出について

提出期間(2023年度第2学期)

【郵 送】11月15日(水)～11月29日(水)本部必着

【インターネット】11月8日(水)10:00～11月29日(水)17:00

通信指導が未提出または不合格の方は、単位認定試験を受験できませんのでご注意ください。通信指導を提出すると、その添削結果と自習型解答・解説が12月末～1月上旬にそれぞれ別々に送られてきます。以下の未着期限までに届かない場合は、大学本部(TEL:043-276-5111(総合受付))に連絡してください。

### 【未着期限】

自習型解答・解説 : 12月26日(火)  
択一式科目(併用式科目の択一部分) : 1月5日(金)  
記述式科目(併用式科目の記述部分) : 1月12日(金)

## 単位認定試験について

### 【単位試験日程】

Web受験方式 〈試験期間〉2024年1月16日(火)9:00～1月24日(水)17:00

※2023年度第2学期単位認定試験は、Web受験方式により実施します。(一部科目のみ郵送受験方式で実施します)

※1科目50分の制限時間があります。(郵送受験科目除く)

※「択一式」はクリック、「記述式」は文字入力により解答します。(郵送受験科目除く)

※Web単位認定試験体験版を公開しています。試験開始前までに、必ず体験版を操作しておいて下さい。

### ●アクセス方法

システム WAKABA(<https://www.wakaba.ouj.ac.jp/portal/>)に、ログインID・パスワードを入力してログイン→システム WAKABAのTOP画面右側「学内リンク」から、「Web単位認定試験」をクリック

※自宅でのWeb受験が困難な方は、学習センターで受験することができます。ただし指定の試験日時に受験する必要があり、原則として「試験問題の閲覧」と「択一式の解答」は、学習センターのパソコンによりご自身で行っていただきます。(記述式のみ解答用紙で行います)「郵送受験方式」の科目については、学習センターでの試験は実施しません。

### 【学習センター受験申請方法】

申請様式：学習センター受験申請書(印刷教材等に同封されています)

申請期間：2023年10月1日(日)～11月24日(金)《必着》

申請宛先：〒261-8586 千葉市美浜区若葉2-11 放送大学 学務部学務課 単位認定試験係 行

# スケジュール

11月

- 4日(土) 大学院(博士後期)入試(第2次選考)(面接)
- 8日(水) 第2学期通信指導提出開始(～11/29) ※Webによる提出の場合
- 11日(土)または12日(日) 大学院(修士全科)入試(第2次選考)(面接)
- 15日(水) 第2学期通信指導提出開始(～11/29) ※郵送による提出の場合
- 18日(土) ライブラリー講演会〈渡邊 邦夫 先生〉
- 25日(土) 臨時閉所日(茨城大学推薦入試)
- 26日(日) 2024年度第1学期募集要項配布開始  
2024年度第1学期出願受付開始(第1回)(～2/29)

12月

- 2日(土) 修士論文・卒業研究発表会(Web)
- 16日(土) ライブラリー講演会〈湯澤 規子 先生〉
- 25日(月) ～閉所日(年末年始休日)(～1/3)



1月

- 1日(月) ～閉所日(年末年始休日)(～1/3)
- 9日(火) 臨時閉所日
- 13日(土) 臨時閉所日(大学入学共通テスト)
- 14日(日) 臨時閉所日(大学入学共通テスト)
- 上旬 通信指導結果返送・試験通知【受験票】
- 16日(火) 第2学期単位認定試験(～1/24)

2月

- 13日(火) 2024年度第1学期科目登録申請開始(～2/28) ※郵送の場合  
2024年度第1学期科目登録受付期間(～2/29) ※Webの場合
- 17日(土) ライブラリー講演会〈小塚 のり子 先生〉
- 25日(日) 臨時閉所日(茨城大学入試・前期)
- 29日(木) 2024年度第1学期入学出願受付終了【第1回】

3月

- 1日(金) 2024年度第1学期入学出願受付開始【第2回】(～3/12)
- 12日(火) 臨時閉所日(茨城大学入試・後期)
- 16日(土) ライブラリー講演会〈三村 信男 先生〉
- 23日(土) 本部主催学位記授与式(予定)

茨城学習センターからのお知らせは、ホームページに掲載しています。随時ご確認ください。

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/ibaraki/>



茨城学習センター  
開所時間

【事務室窓口】9:00～12:00 / 13:00～17:30  
【視聴学習・図書室】9:30～12:00 / 13:00～17:00

月曜日  
祝日休み